

短歌三首
 何となく吾悲しみを知る如く
 星一つあり夏の夕暮れ
 陽のめぐみ受けて豊年満作と
 祭の太鼓夜空に牙える
 黄金の波に田の案山子
 仕着の袖にそよ風の吹く

いきがいです!



個人優勝、最高得点賞、共に
 三度の栄冠に輝く。諸活動の
 要の存在。

文芸

安藤ツギさん

(九十七歳)
横田尻出身

入所二年目、入所前は「白鷹町
 老人音頭」、「おいたま荘讃歌」等
 の作詞者として幅広く才能を発揮。
 現在九十七歳ながら実に若々しく、
 川柳や俳句づくりが、呆け防止と
 若さの秘訣であると語る。白光園
 歌を制作中。川柳、短歌歴八十年。

手芸

馬場寅次郎さん

(六十九歳)
横田尻出身

白光園一、手先の器用な方。手
 芸(くす玉・コイン細工・文化刺
 繍・パズル・ちぎり絵)等の制作
 活動を幅広く展開。その作品は数
 知れず。
 又、輪投げの名選手としても大
 活躍。置賜輪投げ大会に於いて、
 個人優勝、最高得点賞、共に
 三度の栄冠に輝く。諸活動の
 要の存在。

☆様々な趣味をもち、それを生き甲斐として生活をしてお
 られる入所者の方々をご紹介するコーナーです。

運動クラブ

昭和五十六年発足。当初は卓上
 ゲームから、屋外でのゲートボー
 ルに至るまで多種多様な活動内容
 であったが、現在は処遇内容の変
 化に伴い、輪投げ一本に絞り、概
 ね二十名前後の参加者で各種大会
 に向け練習に励んでいる。

輪投げ大会主な成績

(過去15年連続出場)

- 置賜大会
- 個人 優勝 9回(永久杯2回)
準優勝 3回
 - 団体 優勝 6回 準優勝 2回
最高得点賞 4回
- 県大会
- 個人 優勝 1回 準優勝 2回
最高得点賞 1回
 - 団体 優勝 1回 準優勝 2回
最高得点賞 1回

輪投げ大会ご苦労さまでした!

大会前の選手の皆さんの表情か
 らは一種独特の緊張感が伝わって
 きます。
 毎日の練習の積み重ねが今日の
 結果となって表れているのは当然
 ですが、それにも増して体にはハ
 ディを背負いながら輪投げ台に向
 かっていくという前向きな姿勢に
 は頭の下がる思いがします。
 なにはともあれ健康が一番。自
 分の体と相談しながら無理をしな
 いよう練習を重ねて永久杯を増や
 していただく。本当に輪投
 げ大会ご苦労さまでした。
 クラブ長 新野良洋



置賜地区老人ホーム輪投げ大会
「この一投で、優勝だ?。」



釜の越し桜ドライブ
「えや〜、きれいだね。」



久保の桜ドライブ
「やっぱり、桜の下の弁当持ちが最高
だったな。」



だんごさげ・餅つき
「さすがプロだね!」



「美女に囲まれて、俺は幸せだな。」
七夕まつり



長井アヤメ観賞
「ばばちゃ、来てえがったね。」



白光園庭にて
今年も土手に満開の花が咲きました。



山形県老人ホーム輪投げ大会
おつかれさまでした。



希望外食ドライブ
「ここの冷し中華が一番よ。」